

県総合社会教育センターより



NEWS!

特別号



高校生スキルアッププログラムって？

あなたの自主的で継続的な活動(学校外学修)を、青森県が単位として認定！3年生での進路決定にも生かします！

参加申込み受付中！
(学校の先生へGO！)

☆問合せ先☆
県総合社会教育センッ
Tel 017-739-1253
育成研修課スキルアップ担当

※NEWS point!

ボランティア
チーム養成講座
の内容はこちら
をチェック！⇒



100単位取得者インタビュー特集号

◎高校生スキルアッププログラムを活用して、あおもり県民カレッジによる認定証(100単位毎に発行)を取得した高校生にインタビューを行いました。



青森北高等学校 3年
小野 月星さん
(R6年度時点)
JRC部・美術部・文芸部に所属。

令和6年9月20日に249単位を達成して、県民カレッジ認定証、県民カレッジ奨励賞(学士賞)を取得しました。

100単位以上を取得した高校生は、小野さんで6人目の快挙です。



—高校生スキルアッププログラムに参加したきっかけは？

私が青森北高校に入学した時、スキルアッププログラムに全員必ず参加することになっていたのので、それで参加しました。

—参加するボランティアや講座はどうやって見つけていた？

教室に掲示されていた、ボランティアや大学公開講座のチラシを見て、興味があるものに行っていました。

また、社会教育センターのボランティアチームに登録していて、月1回派遣要請のメールが来るのですが、そこに色々なボランティアがいっぱい載っていたので行っていました。

—もともとボランティア活動に興味があったのですか？

中学生のころは、全然ボランティアをやる感じじゃなくて、むしろ家の中にいる方が好きなタイプでした。高校に入って、とりあえずJRC部に入部したら、ボランティア活動をする部だったので、参加するうちにだんだん興味が出てきました。

—継続して活動を行うことができたコツは？

日曜に活動をする決めて、活動自体がすごく楽しかったのので、毎週絶対行こうと思っていたら単位が貯まっていた。

学業との両立がとても大変でしたが、先生に褒められたかったから頑張っていました。



—大変だったこととか苦労したことは？

レポートが一番大変でした。活動をすると思えば書かなければいけないレポートが溜まっていったから、思い出しながら書くのが大変でした。

—レポートを書くときのコツはありますか？

活動のときにこういうことを考えてたなとか、こういう反省をしたなっていうのを、後から見返したときにちゃんと分かるように書いていました。レポートの最後に、学んだこと・次回への抱負を書く欄があるので、そこを書きながら「次の活動でこれを頑張ろう！」という考えが固まっていました。

—交付された認定証は何か活用しましたか？

11月の総合型入試で志望大学に合格できたので、多分スキルアップ認定証とか何単位取ったっていう記録が響いたんじゃないかなって思っています。

—スキルアップの取り組みを通して、自分自身にどんな変化がありましたか？

緊張や不安があっても、なんとかなるだろう！と色々挑戦できるようになったかなと思います。また年齢が全然違う人と関わる機会が多かったので、コミュニケーション能力がつかましたし、責任をもって最後までやりきる主体性も身についたと思います。



—自分の将来の夢や、なりたいものが見つかりましたか？

青森県の魅力を知ったり、青森県がより発展するためにやるべきことを考えるうちに、仕事として青森県の役に立つことをしたい気持ちがどんどん強くなりました。青森県に関わっている人とたくさん会いましたが、すごく熱意が伝わってきて、自分もこんなふうに頑張りたいと思いました。今は市役所職員や県庁職員を志望しています。

—スキルアップの活動に取り組んでいる他の学校の仲間たちや、まだ取り組んでいない生徒さんにむけて、アドバイスををお願いします。



活動をすると、受験の時の志望理由書とか面接の内容を、自分の経験をふまえて話せるようになるので、より濃い内容にできるんじゃないかなって思います。私も活動をする中で、青森県で何か仕事がしたいって思う気持ちがどんどん強くなっていったから、面接で自分のやりたいことを説明する時に、自信を持って話せたと思います。

地域の人とか異なる年齢の人と関わる機会が多くあって、そういう人たちとコミュニケーションをするいい場がたくさんあるので、頑張ってチャレンジしてみてください。

—小野さん、インタビューにご協力いただきありがとうございました！

(令和6年12月9日 育成研修課取材)